



第11回夏まつり

新市誕生後、初めての夏まつりは8月15日、松尾総合運動公園で行われました。今回から旧町村の夏まつりを統一して開催。会場には、合併後もなく1年を迎えようとする八幡平の夏を楽しもうと、たくさんの市民が訪れました。

祭りは午後5時半、ステージ発表で開幕。公募による、M S P O K E T、八幡平三味線倶楽部、松川一の宮太鼓、安代りんどう・さくらさんが会場を盛り上げました。

出店に囲まれた会場では、太鼓打ちを先頭に、盆踊りが行われました。太鼓の音に合わせて踊り手たちは、やぐらを中心にして市民の輪を広げました。

祭りのメインは約4千発の花火大会。夜空のスクリーンを色とりどりの花火が彩り、八幡平市の未来を象徴するかのように、美しい大輪の花を咲かせました。



会場の松尾総合運動公園には、夏まつりを楽しもうとたくさんの市民が訪れました



甚句踊りや三戸踊りなど、地域に伝わる盆踊りで、市民の輪が広がりました



勇壮な太鼓で、夏まつりのステージ発表を盛り上げる西根地区の松川一の宮太鼓



安代りんどうとさくらさんが、さんさ踊りを披露。さっくらちよいわっせ



会場にはたくさんのお店が立ち並び、金魚すくいなどが人気を集めました

